

2013
3

長崎県の“土木”のいまがわかります

NO.19

長崎県

DOVOC 通信 ながさき

特集
1

小迎バイパス開通

特集
2

県立総合運動公園陸上競技場
リニューアル

ずーむあっぷ
ながさき人

ふるさと散策

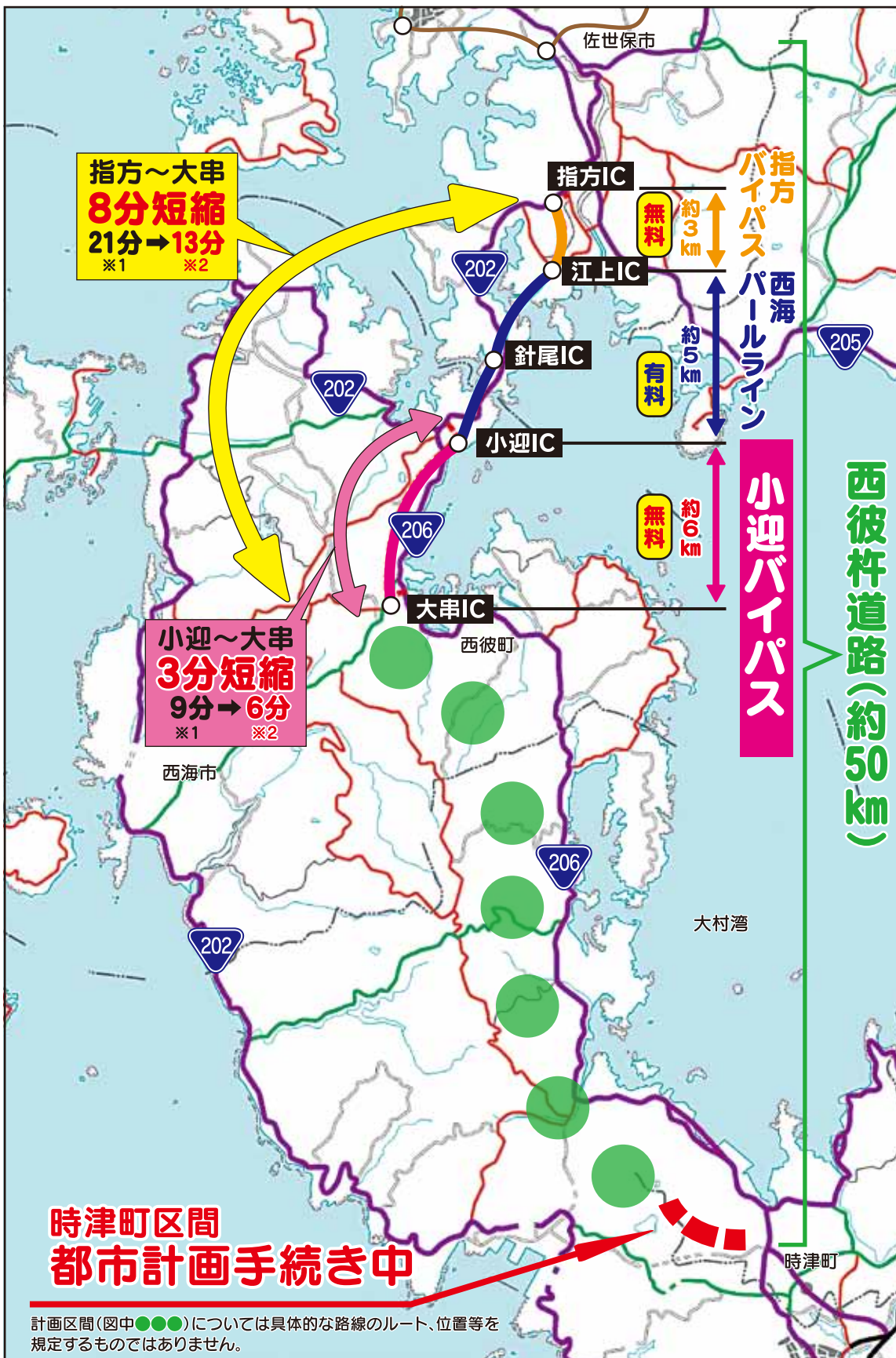
DOVOC インフォメーション



2万人規模の観客席を完全2段スタンドとしてコンパクトな陸上競技場を実現！

小迎バイパスの時間短縮効果

※1: 国道経由 ※2: 西彼杵道路経由 (西海パールラインは有料/普通車200円)



特集

1

小迎バイパスが開通します!!

小迎バイパス(西海市西彼町小迎～大串)は長崎市から佐世保市間を約1時間で結ぶことを目標とした西彼杵道路の一部であり、平成25年3月23日に開通します。制限速度が時速70kmの自動車専用道路で、無料で通ることができます。開通すると、長崎～佐世保間の移動時間が大幅に短縮されます。

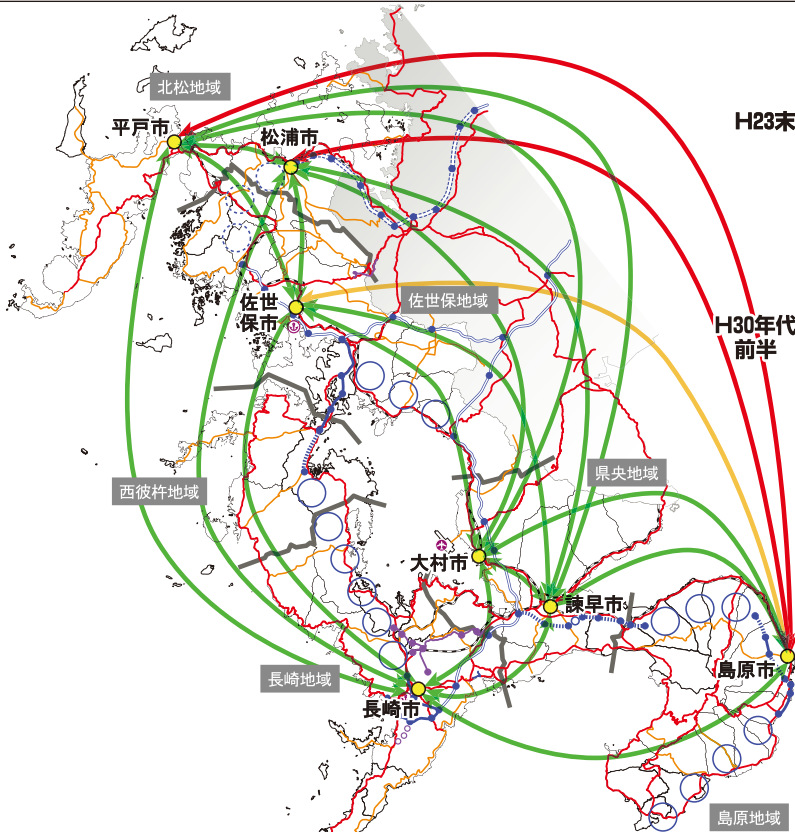
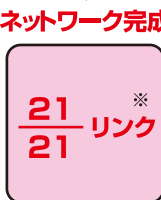
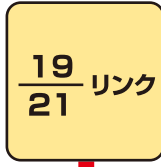
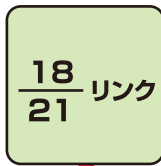


幹線道路の成果目標（小迎バイパスなどを策定しました）

「県内2時間交通圏の拡大」、「第3次救急医療施設まで1時間圏の拡大」の他に、「長崎市〜佐世保市1時間圏の実現」や「福岡市2時間圏の拡大」など、全部で7つの目標達成を目指し、幹線道路を重点的に整備していきます。

「県内2時間交通圏の拡大」

県内の中心都市間を2時間で結びます。

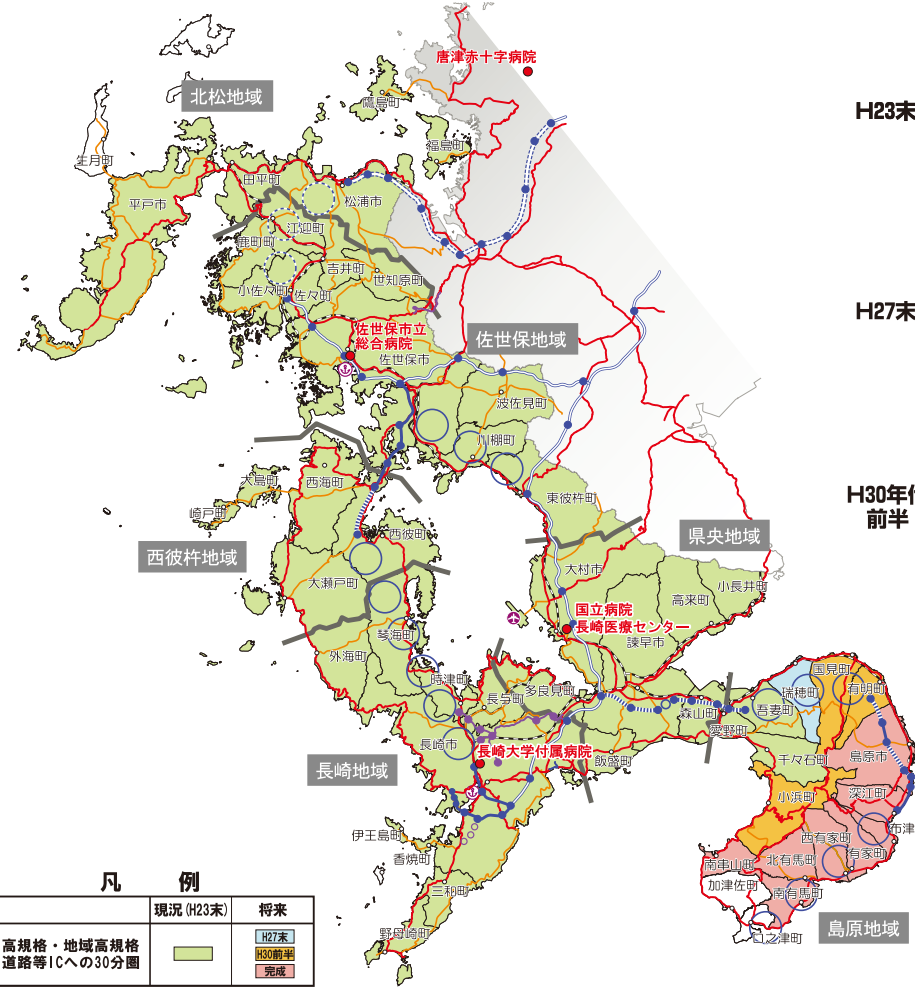
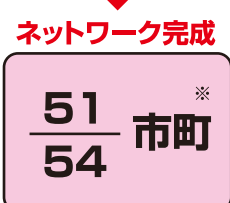
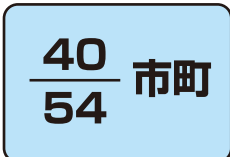
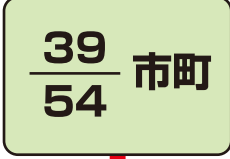


凡 例		
	現況 (H23末)	将来
県内中心都市間2時間達成リンク	←→	H30前半完成
道路網	高規格幹線道路	事業中 未事業
	地域高規格道路	事業中 未事業

※リンクとは 県内中心都市間を結ぶ最短経路のこと

「第3次救急医療施設1時間圏の拡大」

救急医療体制の強化を支援します。第3次救急医療施設II重篤な患者に高度な医療を総合的に提供する施設



凡 例		
	現況 (H23末)	将来
高規格・地域高規格道路等ICへの30分圏	■	H27末 H30前半 完成

※本土及び本土と道路で連絡されている合併前旧市町村数により算定

一成果目標の期間設定について

- H27年末……………「長崎県総合計画」の最終年度
- H30年代前半……………現在事業中の全区間が供用を予定している時期
- ネットワーク完成……………現在計画されている道路網が全て供用した時点

詳しくは、長崎県道路建設課・道路維持課のホームページをご覧ください。
<http://www.doboku.pref.nagasaki.jp/~douro/index.html>





第69回国民体育大会 / 第14回全国障害者スポーツ大会

君の夢はばたけ今ながさきから

長崎がんばらばらんば大会 2014



- トイレ
- 多目的トイレ
- 自動販売機
- 駐車場
- 公衆電話
- 休憩所
- 売店

陸上競技場の他にもいろんな施設があるよ。



特集 2

県立総合運動公園陸上競技場リニューアル

平成26年(2014年)の第69回国民体育大会のメイン会場として県立総合運動公園(諫早市)の陸上競技場が生まれ変わります。この競技場は、旧競技場が建設から約40年経過して老朽化が進んだことや、国体競技場の基準に合わなくなったために建替となりました。供用開始は平成25年3月3日です。ぜひ県立総合運動公園に足を運んでみてください。



北東から南西を望む



南西から北東を望む

一層式スタンドで座席数が2万人に！

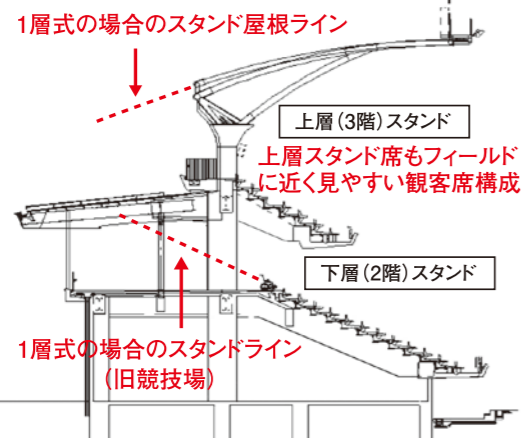
二層式スタンドにすることで、臨場感ある観戦ができるようになります。また、全席背もたれ付の座席が2万席設置されています。

全席に屋根付が実現！

全座席の上空には長崎教会の天井をモチーフにした幕屋根が設置され、快適な観戦スタンドができました。



屋根をコンパクトに実現



雨天走路完備

バックスタンド1階に雨天走路設置。100mが4コースあり、走り幅跳び、三段跳び用の砂場も併設。

環境のことも考えられた競技場だね。



エコなま

太陽光パネルを設置して節電します。また、地下に雨水を溜めて天然芝の散水やトイレの流し水にして節水します。



メインスタンド正面

【長崎県立総合運動公園新陸上競技場概要】

鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄筋コンクリート造・鉄骨造 地上4階 / 地下階なし
 建築面積：約14,500㎡ 延べ面積：約29,700㎡ 最高高さ：約24m
 2階観客席収容人員：約12,000人 3階観客席収容人員：約8,000人
 競技場規格：日本陸連第1種公認陸上競技場、Jリーグ対応

リバーサイドガーデン

代表
殿川 美津貴さん



安心安全な地域を目指して 人々の協力で花を咲かせた美化活動

博多港からのフェリーやジェットfoilなど、壱岐の玄関口の1つである芦辺港。この芦辺港へ向かって流れる二級河川、大左右川流域内の環境美化のため、地域住民を中心として発足した「リバーサイドガーデン」。メンバーの皆さんで日々清掃活動に取り組んでいます。「大左右川の周辺は瀬戸小学校や箱崎中学校など子どもたちの通学路になっています。雑草が生い茂っていたため、安全や防犯のためにも雑草を取り除いて、花が咲くキレイな町にしたいと平成9年に立ち上げました」と代表の殿川さん。

現在は2カ月に1度のペースで集まって清掃活動をしています。メンバーは27人。全員があくまでもボランティア。年齢や性別もさまざま、仕事がある人もいます。みんなに無理のないよう、できる時にできる人が協力できるような雰囲気作りや日

程調整を行っています。「大左右川岸に花を植えているのですが、通り沿いの人が花の水やり用に雨水を集めてくれたり、それを通りがかりの人が使って水やりをしてくれたりしています。みなさんの支えがあって見違えるようにキレイになりました。今は芦辺港に置いたプランターの管理もしています」。

当初は大左右川を花いっぱいになりたいとの思いから始まったこの清掃、美化活動ですが、地域住民はもちろんのこと、町外やメンバー以外の協力も多いことが活動の支えとなっています。昨年は日々の活動が認められ平成24年度の河川功労者表彰を受けました。「私たちにとっては当たり前になっていた清掃活動が表彰されてとても驚きました。これからも細く長く、清掃活動を続け、美しい町づくりに貢献したいです」と語ります。



長崎県の美しいまちづくり

大村編

「オオムラザクラ」

をみなさんはご存知でしょうか。八重桜を二段に重ねたような独特の花で、花弁の数は多いもので二



大村市マスコットキャラクター
おむらんちゃん ©大村市

百枚に及び、その優美さはまるで十二単のようです。国指定天然記念物に指定されており、大村市のマスコットキャラクター「おむらんちゃん」のモデルにもなっています。



オオムラザクラ

初代大村藩主大村喜前（よしあき）が築いてより代々居城としてきた玖島城跡は、今では、オオムラザクラをはじめ多数の桜やツジ、花菖蒲などに彩られる大村公園として、大村市民はもちろん多くの観光客に親しまれています。

今回は、城下町として栄えてきた歴史あるまち、「大村」の中でも武家屋敷跡や石垣など歴史的な資産が今も数多く残されている「五小路（ごこうじ）」をご紹介します。



旧円融寺庭園



福山家五色塀(景資第2-11号)

五小路とは、玖島城下にある武家地の主要な五つの通りの総称で、本小路（ほんこうじ）、外浦小路（ほかうらこうじ）、小姓小路（こしょうこうじ）、上小路（うわこうじ）、草場小路（くさばこうじ）からなります。

最も北にある草場小路の見所は、五色塀（ごしきべい）という色とりどりの石を漆喰で塗り固めた大村藩独特の石塀の中でも最大の、福山家の五色塀です。秋には庭の紅葉とともに色彩豊かな表情を見せてくれます。

自然の斜面を築山に見立てた立体的な枯山水庭園である旧円融寺庭園を抜けて南に行く

されており、一際目立つ存在です。

更に本小路、小姓小路の多種多様な石垣を楽しみながら南に歩を進めると、中尾元締役旧宅



西川家住宅(景資第2-128)

があります。五色塀に囲まれた中にある寄棟造りの広大な屋敷は、保存状態も良く、歴史的景観を構成する貴重な要素となっています。この中尾元締役旧宅及び西川家住宅は、ともに大村市都市景観賞を受賞しています。

まだまだ紹介しきれない魅力ある歴史的建造物や史跡がこの地区にはたくさんあります。散策しながらまちなみを楽しんでいた



中尾家住宅(中尾元締役旧宅)
(景資第2-10号)

ただけるよう街路の整備も進んでいるので、みなさんもぜひ大村の歴史に触れながら五小路を散歩してみてください。か

がでしょうか。
(景観班/入江)

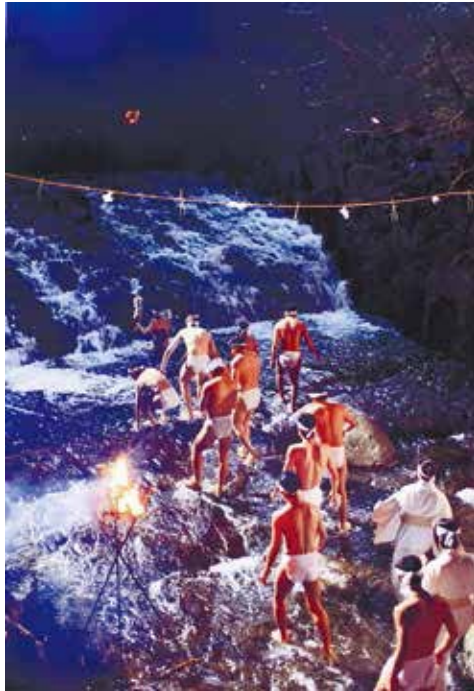
平成24年度 長崎県「土木の日」写真コンテスト 受賞作品決定!!

長崎県「土木の日」関連イベントとして写真コンテストを実施しました。
今年度のテーマは「川のある風景」で、昨年の30点より26点多い56点ものご応募がありました。
その中から選ばれた最優秀賞1点、優秀賞2点をご紹介します。



「寒行」

浦川 武弘さん(長崎市)



撮影場所：千々石川 撮影日時：平成24年1月21日



「桃溪橋の風影」

山口 哲規さん(長崎市)

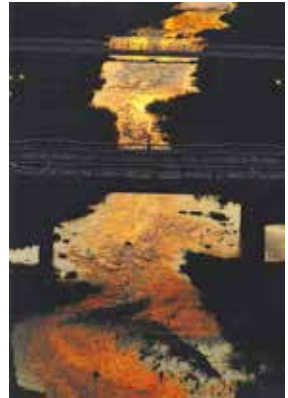


撮影場所：中島川 撮影日時：平成24年10月21日



「輝く川面」

鈴木 悦子さん(諫早市)



撮影場所：本明川 撮影日時：平成24年3月3日



愛護団体制度の活用

勝本港(吉崎市勝本町)における 係船柱の塗装ボランティアについて

勝本港において、漁協青壮年部、陸上自衛隊、地元住民が協働して、漁船に係留する係船柱の塗装をボランティアで行ないました。

ボランティア塗装は県の「愛護団体制度」を活用して行なわれ、ペンキ代は長崎県が負担しました。詳細情報は以下に掲載しています。

<http://www.facebook.com/ngskouwan>



作業前

作業中

作業後



「世界新三大夜景」に 認定された長崎の夜景

昨年10月に長崎市で開かれた「夜景サミット」で香港、モナコと共に「長崎の夜景」が世界新三大夜景に認定されました。



ライトアップされた女神大橋

港を囲むすり鉢状の地形で、稲佐山・鍋冠山など多方向から眺望できることなどが評価され、大浦天主堂や長崎港に架かる「女神大橋」のライトアップが夜景に彩を添えていることも要因となったそうです。

2005年に完成した「女神大橋」は長崎市西部と南部をつなぐ長さ1,289mの橋梁です。このうち880mは、主塔から斜めに張ったケーブルが橋げたをつり下げる「斜張橋」であり、中央径間の480mは、国内で6番目、九州最大級の長さです。